

シニア立志塾

ニーズの見極めが大切



豊かな知識、経験、技能等を活かして企業やNPOを立ち上げ、多彩な活動を展開するシニア世代の社会起業家が増えてきています。こうした方々から話を聞き、シニア世代の意欲と力を引き出すきっかけづくりを目的として、シニア立志塾第1回「自分らしく輝く！地域に根ざしたシニアの起業」を7月30日、市働く婦人の家で開催しました。

講師に特定非営利活動法人北秋田ハッピーデリバリー（北秋田市）理事長の佐藤信子さんと特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センター（大館市）事務局次長の浅利博樹さんを招き、

鼎談形式でお話をうかがいました。

定年まで半年を残して市の職員を退職し、高齢者を対象に買い物代行などの生活支援を行う事業を始めた佐藤さんは、「地域社会において何が求められているのかニーズをしっかりと見極めることが大切」と起業の際の重要ポイントに触れたうえで、小説家林真理子さんの著書『野心のすすめ』から「やってしまった後悔とやらなかった後悔、どちらも取り返しがつかないが、やってしまった後悔からは、ちゃんと血が出て、かさぶたができて治る。しかしやらなかった後悔は内出血のような痛みが続く」という一節を引用し、「私はとりあえず進んでみる、やってみるといって人生のスタンスで進んできました。ちょっと乱暴ですが、やってみなくちゃ分からないというところは大きいと思います。そして、そこから次のステップが見えてくると私は信じています」と話していました。

センターからのお知らせ

長年の活動が評価されての受賞おめでとうございます

文化庁長官表彰を受けた当センター登録団体のしろ日本語学習会代表の北川裕子さんが7月3日、齊藤滋宣市長に受賞の報告を行いました。

文化庁長官表彰（文化発信部門）は、日本文化の海外発信、国際文化交流に顕著な貢献をされた方々に対し、その功績をたたえ表彰するもので、今回は北川さんのほか、ファッションブランドを展開する企業、チャンネルの日本法人の社長で小説家のリチャール・コラスさんら12人が選ばれました。

北川さんは平成3年に帰国した中国残留邦人への支援を開始し、平成5年からは能代市および隣接する町村に在住する外国籍住民など日本語を第一言語（母語）としない人々に対する日本語学習支援と生活支援を行ってきました。

現在は指導、送迎、保育、行事などそれぞれのボランティアの協力のもと、毎週2回の教室をはじめ花見やバス旅行、お茶会、盆踊りなどを通じて文化理解の機会を提供しています。

7月10日には秋田県庁を訪れ、佐竹敬久知事に受賞の報告を行っています。

長きにわたる献身的な活動の功績が認められての今回の受賞おめでとうございます。今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。





NPOに関する基礎知識



このほど秋田県が発行したNPOのためのガイドブック『NPOの便利帳 2013』から「入門編」と「法人設立編」を取り上げ、NPOに関する基礎知識についてシリーズでお伝えします。今回は「Q3【入門編】NPOの活動はどのようにして行われますか？」です。

NPOは法人格を得ている一部を除いては、明文化された規範等はありませんが、社会的にも継続した活動を行うためには、次のような組織としての機能が備わっていないと考えられます。

◆代表者は明確ですか？

団体として活動する以上、団体としての意志を表明するには、団体を代表する人が必要です。

◆会則や規約がありますか？

団体を民主的に運営するためには、ルールが必要で、それを明文化しておくことをお勧めします。団体を代表する意見は、どのような会議でどのように決められるのか、その会議の参加者の範囲や会議の頻度や回数などを決めておくといひでしょう。そしてその会議に加わるのは会員全員なのか、一部の役員で決めたものを会員全員で承認するという形をとるのかなどを、皆で考えておきましょう。

団体としてのルールを決め、いつもそのルールに則って、民主的な運営を心がけたいものです。

◆会計係は決められていますか？

たとえすべての活動を無償のボランティアで行うにしても、活動には様々な経費が掛かります。これらをどのように確保し、その金銭の出し入れを誰が担当するのも、団体を継続的に運営していくには大事なことです。

◆会員の数を把握していますか？

活動をスタートした時点では数十人いたメンバーも、いつのまにか会員が減っていたということもあります。情報をお知らせする会員の範囲や方法をきちんと決めて、団体の継続的な運営をめざしましょう。

能代市内および秋田県内を対象とする助成事業

◆サービス産業ビジネス化支援事業補助金 実施団体：秋田県 お問い合わせ先：秋田県産業労働部商業貿易課
TEL. 018-860-2244 FAX. 018-860-3887 募集締切：8月16日（金）17:15 必着

◆平成25年度元気なふるさと秋田づくり活動支援事業（元気あきた資金）第2回募集 実施団体：秋田県 お問い合わせ先：秋田県山本地域振興局総務企画部地域企画課 TEL. 0185-55-8004 募集締切：8月23日（金）必着

◆平成25年度能代市市民まちづくり活動支援事業（2次募集） 実施団体：能代市 お問い合わせ先：能代市企画部市民活力推進課地域づくり支援係 TEL. 0185-89-2212 FAX. 0185-89-1770 募集締切：8月26日（月）まで必着

この他にも助成制度に関する情報がございますのでお問い合わせください。

能代市市民活動支援センター主催・共催事業のご案内

登録団体交流会第6回 人が集まり人が育ち人が生きる組織づくりを考えよう

地方に見られる商店街の衰退はここ能代も例外ではなく、「シャッター通り」と取捨されるようになっていました。このような状況の中で、ただ嘆いているだけでは何の解決にもならないと、商店や飲食店経営者が行政との連携協働により「一店逸品運動」に取り組み、ことし3月に約2年間の準備期間を経て能代逸品会を立ち上げるに至りました。

「店主が選ぶ逸品お店巡り」、「のしろ逸品デー」、「逸品チョイ飲みつまみ食いお店巡り」など商店街に活気を戻すための行動を実践し注目を集めています。

新たな試みに取り組むにあたっていかにして意識付けを図ってきたか、さまざまなメンバーがひとつの組織として融合するために何を大切にしながら進めてきたのか、持続可能な組織に育てていくためにどう活動していくかなどについて紹介していただきます。第一部：能代逸品会による話題提供、第二部：質疑応答・意見交換・情報交換

日時：8月31日（土）13:30～15:30 場所：能代市勤労青少年ホーム 対象：能代市市民活動支援センター登録団体の代表者をはじめ会員の皆さま 地域に根差した活動をしている団体の方など登録団体以外の方の参加もお待ちしております。 参加費：無料

